

1 普及調査

920MHz帯無線システムの全体的普及に加え音声データ伝送を加えた場合の普及予測を行い、920MHz帯無線システム制度化当初の普及予測数と比較する。

2 モデル構成

ラボ内試験及び実証試験の結果を受け、音声データ伝送システムのモデル構成を行う。

3 デューティ比

デューティ比を改善した場合の干渉量とその影響の検討を行う。
1時間あたりの最大送信時間の総和が $360s^*$ 以上



隣接する無線局との干渉検討

対象無線局: 携帯電話無線システム(基地局、移動局、中継レピーター(屋内、屋外)、MCA
検討手法

- ・普及調査において、当初予定局数を上回る場合は、モンテカルロ手法を用いて共用検討を行う。(250mW局を除く)
- ・250mWにおいては、対向での検討を行う。(電波の質に変更がある場合は検証を実施)

同一周波数帯域無線局との干渉検討

対象無線局: パッシブ系無線システム、アクティブ系無線システム、スポーツ連絡用無線
検討手法

- ・モデル構成を用いて、他の無線局との干渉環境を検討する。
- ・免許局(250mW)と特定小電力局(20mW以下)との免許状件及び干渉環境を踏まえた検討を行う。

他の無線局との干渉検討手法について

920MHz帯付近における周波数の配置状況

